

わたしの 妊娠報告書

記載日 2018年 4月 18日

おめでた宣言日	2017年 9月
年齢 (41) 歳	平成 (2014) 年 (9) 月 結婚
私は (体外受精)	で妊娠しました。

不妊治療歴	(1) 年 (10) ヶ月
他院での治療歴	(なし) あり→内容 ()
ASKAでの治療歴	
一般不妊治療	
<input type="checkbox"/> 自然排卵 タイミング法 () 回	
<input type="checkbox"/> 排卵誘発 タイミング法 () 回	
<input type="checkbox"/> 自然排卵 +人工授精 () 回	
<input type="checkbox"/> 排卵誘発 +人工授精 () 回	
生殖補助医療	
<input type="checkbox"/> DOST 法 () 回	
<input type="checkbox"/> 体外受精 () 回	
<input type="checkbox"/> 顕微授精 () 回	

妊娠の秘訣・心がけていた事

どれが効果があったのかは分かりませんが、冷えには注意していました。
日頃運動不足を感じていたのが、治療途中から通勤を徒歩に切り替えました。自分でもいろいろ調べたり、勉強はしてつもりですが、基本的には先生とスタッフの方々に信頼してお任せしていました。最終的には体外受精のSEET法で妊娠しました。

わたしの 妊娠報告書

治療にまつわる苦労話し

治療内容

タイミング法 → 人工授精 → 体外受精 → 顕微授精

治療を始めてから、自分でいろいろと調べたところ、他にもいろいろな治療の方法や、病院の方針があると知りました。

アスカレディースクリニックは、私たち夫婦の考えと治療方針が合っていたと思えたところが良かったです。

その他 (通院・治療費・家族など)

フルタイムで働きながらの治療でしたが、遅い時間まで診ていただけたり、土日の診療もしていただけましたので、仕事と両立できました。体外受精、顕微授精になると、治療費も安くはないので、仕事を辞めずに通院できたのが良かったです。夫にも可能な日は診察に付き添ってもらい、先生の話を一緒に聞くことで、情報を共有し、同じ方向を向いて治療をすすめることができました。

治療中の方へのアドバイス

結局、妊娠に結び付いた胚盤胞は、5日目胚盤胞の3BCでした。先生から十分に着床の可能性はあるとおっしゃっていただけだったので、移植に臨みました。グレード別の着床率のデータもグレードが下がるとは低くなっていましたし、次の採卵の事なども考えたり、正直諦め半分で移植後は過ぎていました。諦め半分か良かったとは思いませんが、気にしすぎずにリラックスして過ぎていました。あまり良いとは言えないグレードでも可能性はあるとアドバイスはいいです。

スタッフへのご意見など

治療中は、些細な質問にも丁寧に答えいただけたり、良い結果が出なかつた時も前向きに励まして下さったりしたお陰で諦めずに治療を続け無事妊娠することが出来ました。

本当にありがとうございます。